

四月五日

今日は少し計りゆっくりさせてもらおう。昨夜は二〇時過世田谷村に辿り着いた。

山田脩二、冷水隆治氏より知らせ届く。共に個展の知らせ。冷水さんのは明日四日六日から十九日迄、神戸大丸カーポートギャラリーで。京町家の世界と題したシリーズ。山田さんのは来年二月四日より兵庫県立美術館で、山田脩二の軌跡 写真、瓦、炭・・・。脩ちゃんのは回顧展みたいで大丈夫かな。ともかく、おじさん二人の悠々たる頑張りを喜びたい。

十四時研究室。定例ミーティング。十七時若松社長来室。十八時新大久保駅前近江屋で定例近江屋会議。近江屋のオバさん達から、疲れが顔に出ると言われてしまった。そりゃあ、疲れもするさ。ユーラシア・サイエンス&ビジネス研究所開設準備室第一回プロジェクトを決定する。

「モスクワに自力建設によるダーチャを計画する、衣食住全てに提案を求める」

にする。八月十七日より二週間、場所はモスクワ、20M X 30Mの実在する土地に小屋と農園を実際に建設する計画、という課題。サブ・テーマは自給自足。コミュニティ崩壊後の資本主義的ライフスタイルの再構築。etcである。募集人員は六〇名。学生参加費は十六万五千円。二週間の宿泊費、飛行機代を含む。企業参加はロシアでのビジネス情報、指導込みで五十万円。若干、左右に振れるかも知れぬが、大筋は変えない。二〇時過修了。何とか道筋

が視えてきた。東京、佐賀、ドイツ・ワイマール、ネパール・キルティプール、カンボジア・プノンペン、中国・上海そして沖縄と動いてきた我々のワークショップは自然に、夏のロシアに居留地を動かす事になりそうだ。

四月六日

農村計画、自力建設、開放系技術、0エネルギー計画、生命と共同体等のテーマを混成してロシア・ダーチャ計画に統合できるだろう。東北の結城農場とのコンビネーションも組入れるつもり。四ヶ月の準備期間と多くの経験があるから、ロシアのワークショップはうまくいくだろう。

十五時過研究室。産経新聞社「正論」5月号送られてきて研究室OBの関岡英之が、ライブドア問題特集に寄稿していた。「志しを喪失した時代の象徴として」がタイトルである。他の論者も大方ライブドア社長ホリエモン氏バッシングである。ほとんどの論が堀江貴文嫌いの感情をベースにしているのが、少々奇異であるように感じた。今はそれ位しか言えない。

台湾のインテリア雑誌室内INTERIOR送られてきて、我々の上海ワークショップの様子が紹介されていた。

十七時日本アニメーション高山氏他来室、打合わせ。十八時半迄。新宿高島屋12Fのソバ屋で会食。二十一時半迄。二十三時新宿南口でワインを飲んで散会。体は限界だが、気持ちはフオーローできている。二十四時前世田谷村に戻る。こんな人生でいいのかね。本当に疑問。